



LPUシステム構成図 (運用例)

LPU システム構成図の例

LPU は各観測地点において、気象データ（風向、風速、気温など）を取り込み、一時的な統計処理を施し、毎正時のデータとしてメモリに蓄えます。そして、蓄えられたデータを遠隔地で取得するためにデータ収集端末から公衆回線網や携帯電話網等を用いて、各地点の LPU にアクセスし、データを収集します。

また、LPU はオプション機器を接続するための拡張通信ポートを有しています。このポートは RS-485 規格の物理インターフェースを持ち、3 線マルチドロップ方式で機器を接続することができます。構成図の例のようにモデムポートに接続された 1 台のデータ収集端末から拡張ポートで接続されている複数の LPU に透過的にアクセスすることが可能となっています。また、このポートを応用することによって様々な付加価値を持った装置をシステムに組み込むことが可能です。例えば、気象観測を行っている LPU に拡張ポート対応の電光掲示板を接続し、データ受信端末からのコマンドにより気象状況を表示させるなどといった使い方ができます。